

## 令和6年度第1回羽咋市総合教育会議 会議録（要約）

- 1 日 時 令和6年12月18日（水）  
開 会 午前10時00分  
閉 会 午前10時40分
- 2 場 所 羽咋市役所 302会議室
- 3 出 席 者 羽咋市長 岸 博一  
教育長 八島 和彦  
教育長職務代理者 今井 和秀  
教育委員 西 和美  
教育委員 西浦 雅人  
教育委員 出雲 香苗  
(事務局) 総務部長兼総務課長 山本 裕一  
総務部参事兼企画財政課長 和田 美紀  
こども課長 蓮本 義哲  
総務課参事 木田 和子  
教育次長兼学校教育課長 中島 一明  
企画振興室学務担当室長 関軒 友則  
学校教育課課長補佐 北 綾子
- 4 傍 聴 者 1名
- 5 協議事項  
(1) 羽咋市の教育の現状と課題について  
  
(2) 教育関連事業  
①学校の施設整備等について  
通学路の道路整備  
快適な学校環境  
②部活動の地域移行と文化観光事業等について  
部活動の地域移行推進  
高校生の公共交通機関利用補助  
文化観光事業及びまちづくり活動に関する予算措置  
③質の高い教育環境の維持とデジタル化の推進等について  
学習環境の支え  
教職員のICT教育活用に対する支援の拡充  
不登校児童生徒の学びのサポート体制の強化

- ④学校の適正配置について  
西北台小と羽咋小の交流の促進  
西北台小のスクールバス  
統合に係る制服の補助および心理的サポート

(3) 学校施設を活用した放課後児童クラブの整備に係る協定について

## 6 会議の概要

次のとおり

○岸市長あいさつ（開会）

○協議事項

(1) 羽咋市の教育の現状と課題について  
八島教育長から羽咋市の教育の現状と課題について説明

(2) 教育関連事業について

- ①学校の施設整備等について（今井職務代理から説明）
- ②部活動の地域移行と文化観光事業等について（西浦委員から説明）
- ③質の高い教育環境の維持とデジタル化の推進等について（西委員から説明）
- ④学校の適正配置について（出雲委員から説明）

(3) 学校施設を活用した放課後児童クラブの整備に係る協定について  
こども課長から説明

○八島教育長あいさつ（閉会）

### 【主な質疑・意見等】

#### 【協議事項（1）について】

八島教育長：（教育の現状と課題）

まず、現状について2点。

1点目は、今ほど市長もあいさつで言われていたが、質の高い教育力の維持に向けた、より良い教育環境の整備ということで、各種学力調査において、小学校では、おおむね8ポイントから18ポイント、中学校では、おおむね5ポイントから15ポイント、県平均を大きく上回っている。

引き続き、トップレベルの高い学力が維持されており、各小中学校でこの結果を分析し、2学期以降の学習にそれぞれ取り組んでいる。

また、今年度予算をつけていただいたデジタル教科書については、児童、生徒の7割以上がデジタル教科書を活用した学習が好きだと回答しており、また、8割以上がデジタル教科書を使うことで授業がよくわかると回答している。

そして、デジタル教科書を使った学習で7割以上が、学力が身についたと感じているという結果が出ているので、デジタル教科書の導入には一定の成果がみられたという思いを持っている。

次に、柱の一つである英語教育について。

2学期末で小学校6年生で5級以上88.3%ということで、おおむね90%、4級以上は27.3%。

中学校3年生で3級以上58.1%ということで県平均を大きく上回っている。

長年、小中連携して取り組んできている英語教育の成果というのが出ていると思っている。

特に上位層では、英検2級4名、これは高校卒業程度。準2級は30名が取得しており、非常に高い学力を身につけていると考えている。

2点目は、不登校の児童制度について。

現在、30日以上欠席した児童は小学校12人、中学校12人ということで、3.2%となっており、全国平均3.7%と比較すると低く、おおむね3%程度で推移している。

余喜の適応教室は、現在2名が定期的に通っている。羽咋小の巡回適応教室は5名が在籍しており、常時2、3名が学習している。

羽咋中の巡回適応教室は在籍が8名いるが、常時2、3名が学習している。

指導の先生は、午前中、余喜の適応教室へ行き、午後からは羽咋小と羽咋中に分かれてそれぞれ指導している現状。

続いて、課題2点について、まず、これも先ほど市長から話があったが、学校の適正配置統合について。

昨年度、余喜小と邑知小が統合され、今年度は児童数が著しく減少していく西北台小学校においても、児童の適切な教育環境を考え、羽咋小学校との統合が進んでいる現状。

今後は、保護者との協議結果を町会長や学校評議員へ報告し、3学期中には、地域住民への方々へ説明会を開催し、理解と協力を図っていきたいと教育委員会では考えている。

また、次年度に統合協議会などを立ち上げて、今後の統合へ向けて、詳細について取り決めていきたいと思う。

教育委員会としては、保護者の意向を第一に考え、ボトムアップで学校統合を進めていくことが、トラブルが少なく、短期間で統合が進んでいくと考えている。

今後、児童生徒の減少による学校の適正配置、統廃合ということが考えられるが、一番大事にしたいのは、児童生徒の適切な教育環境である。

続いて、部活動の地域移行、羽咋版コミュニティスクールの推進については、国の方針に基づいての取り組みになる。

部活動の地域移行については、今年度、邑知中学校が休日の部活動を移行し、次年度から平日を含め、地域クラブとして活動をしていくことになる。

また、外部指導者が入っている他の部活動についても、順次、地域クラブへ移行していきたいと考えている。

そして、羽咋版コミュニティスクールの推進については、邑知小を指定校として取り組んで検証し、次年度から市内全域へ導入し、学校と地域が連携を強化、発展させて学校教育力の向上と地域の活性化を図り、しっかりとした基盤を作った上で、コミュニティスクールへと移行していきたいと考えている。

## 【協議事項（２）について】

今井委員：学校の施設整備等について

私の方から２つの側面からお話しする。

まず１つは安心安全の面、そしてもう１つは快適な学習環境の面の２つ。

まず、安心安全の面では、通学路の道路整備を行っていると思うが、不断に行っていただきたいということである。

特に今年は、地震により、あちこち道路が損壊をしている状態にある。

また、地震に関わらず、道路の状況で例えば、車道と歩道の区別が不明瞭な部分もあるように思われる。

そういった通学路の道路整備を行っていただきたい。

防犯灯も当然必要であろうと思う。

それから、ドライバーからよく目立つように横断歩道のカラー化なども進めていただき、県や警察の関係機関に対して、市の方から積極的に働きかけをしていただきたい。

2点目の快適な学校環境の面では、学校の建物のことです。

我々が子供の頃は、今ほどの暑さではなくて、窓を開ければ大体それで済むような時代だったが、近年の地球温暖化で30℃を超えるのが当たり前のことになっており、夏の空調の整備をしていただきたい。

一度に全部できないため、まず体育館について、一番大きな羽咋中学校の体育館から整備を進めていただければ、子どもたちの授業のほかにもいろんな面で利用が可能だと思われる。

まず、羽咋中学校の体育館の方から空調整備をしていただきたい。

また、特別教室、これは普通教室と区別して呼んでいるが、音楽室とか理科室とか、そういったところもまだ入っていないところがあるかなりあるので、ここも空調設備を入れていただきたい。

昨年、学校訪問したときに、ある小学校の音楽室がすごく暑く、子どもたちが汗をかきながら楽器を吹いていた。そういう状況からも、特別教室にも順次空調整備を進めていただきたい。

#### 西浦委員：部活動の地域移行と文化観光事業等について

3点お願いしたい。

1点目が部活動の地域移行推進について

子育て支援の充実と保護者の負担を軽減するために、のるまいかーの新しい路線の見直しや停留所の設置をしていただきたい。

あとは中学生料金について。

部活動のために移動するにあたって1人100円で行っていただきたい。

負担が大きくなるので、保護者の負担の軽減のために大事だと思う。

そして、スポーツ団体の運営支援の拡充のために、地域移行するにあたって、教えてくれる方々がスポーツ団

体になってくるので、運営支援を拡充するために指導者の謝金の支援を行っていただきたい。

次に２点目。

高校生の公共交通機関利用補助をお願いしたい。

羽咋市の子どもたちが学力が高い中で七尾高校に行ったり、また金沢の高校に行ったりされている。

保護者の負担もかなり大きくなってくるので、高い学費を支援するために補助の方をお願いしたい。

３点目は、現在、妙成寺の国宝指定に向けた取り組みが行われており、その中で地域住民や子どもたちがPR動画やパンフレットを作ってくれた。

邑知中の生徒がパンフレットやPR動画を作ってくれることによって、国宝指定に向けてかなり大きく寄与してくれている。

今後とも、この文化観光事業やまちづくり活動に関する予算措置を行っていただきたい。

西委員： 質の高い教育環境の維持とデジタル化の推進等について

まず１点目は、市長さんのあいさつにもあったように、子どもたちの学力は全国トップです。

それをここ何年間か頑張っていると私も思っている。このトップの学力を維持していくためには、学習環境の支援が必要だと思う。

特に、今の教育が求めている、自分の考えや思いを構築し、自分の言葉で表現する、発信するという力の育成のためにもぜひ、学習指導用プロジェクターの整備や学習ソフト、デジタル教材、デジタル新聞の充実をお願いしたい。

２点目は、デジタル機器を有効に活用するために、教職員のICT活用に対する支援の拡充が必要だと思う。

学校訪問で授業を見させていただいても、少し差があり、デジタル機器の活用に得手不得手があると感じることがあるので、支援をお願いする。

３点目は、今、全国でも増えている不登校の児童生徒の学びの保障をしていくためのサポート体制の強化をお願いする。

羽咋でも、各学校で場所づくりをしたり、それから適用指導教室などを設置したりしているが、今後も増えていく可能性もあり、どの子にも平等に教育を受けるという観点から、ぜひ強化をお願いしたい。

出雲委員：学校の適正配置について

先ほど市長のあいさつや教育長の話にもあったように、西北台小学校についてお話したい。

保護者の方たちが自ら作成し、自ら取ったというアンケートの結果を見させていただいた。

そういった保護者の方の総意から、羽咋小学校との統合が良いと考えている。

羽咋小学校に統合するということを前提に、3点お話しする。

保護者の方の中の見解にあったが、一つは交流。

羽咋小学校との交流を促進するということで、具体的には両校の学校長を中心に考えることになると思うが、交流に伴って、スクールバスを出すなど色々なことが生じてくると思うので、両校の交流の促進ということを1点目指したい。

また、現実に統合するということになったら、スクールバスの増設が大きな課題だと思う。

スクールバスに今の人数だと、2台なのか、1プラス何かの形になるのかというふうに、スクールバスの増設ということが1台になるか2台になるか、こういった形で運転手を確保するかといったことが出てくると思うので、予算措置をする必要があると思う。

これが2点目。

3点目は、いわゆる標準服のような制服を西北台小は着ているが、制服が変わることになる。

経済的な負担というものが保護者に出てくるので、そういったことの軽減、また、何人かの保護者の方から話が出ていたが、スクールサポーターとか心理的サポートを優先にしてほしい、と具体的に言う方もいる。

統合した前後、心理的サポートというものが必要ではないかという話が出ていたので、そういった面を含めたサポートをよろしくお願いします。

岸 市長： それではまず1番目の今井職務代理の学校の安全安心ということだが、道路については地震等で被災、破損した道路があるので、それに合わせて整備できるものは整備していきたい。

また、体育施設。空調というのはまず、普通教室は、おそらく全て整っているので、特別教室については年次

的に整備していく必要があると思う。

体育館等については、避難所になっているところがあるので、空調の整備を進めながら、計画的にしていきたい。

それから、西浦委員の言われた部活動の関係も、いろいろな形で今年 11 月から邑知柔道クラブが移行していくということになっている。

指導者の確保という課題はあるが、順次、地域クラブへ移行していく予定をしているので、地域と指導者の確保をしながら進めていきたい。

それから 3 番目の西委員の言われているデジタル関係。これは本当に大きな効果が出ているということが示されている。

一方で、デジタルを教える指導者、それからハード的な充実などについて、また対応していきたい。

西北台小の統合には、環境や教育環境が変わるので、心のケアや、通学については、スクールバスがいいのか、例えば、既設の路線バスを使っただき、足りないところをスクールバスで補正するのかなど、工夫する必要がある。

将来的には、中学校は、邑知中と羽咋中があるので、小学校の統合をやらざるを得ないのではないかと考えている。いわゆる最後は小中一環というか、6 年間と 3 年間合わせて 9 年間ずっとそのままで行く形になるが、今の段階で、小学生も羽咋小学校、粟ノ保、それから瑞穂、西北台、こういった小学校は、羽咋中学に入ってくるので、それが少し早まるという形になるので、そういう中で、1 年生が急に大きな学校環境に来るのは不安があると思う。しっかりと先生方と保護者の意見を聞きながら対応していく必要がある。

予算が伴うものと伴わないものがあるので、そのあたりも財政課と話をしながら優先的に対応していくという必要がある。

また、適正な職員の配置というのもあると思うので、教育委員会や県の教育委員会と話しながら、総合教育会議だけではなく、また皆さん方と密にしながら対応していきたい。教育長を通じて話をしていただければ、と思う。

今井委員： 西北台小の統合の問題で、例えば邑知小と余喜小の統



合したときに子どもたちの制服がほとんど変わらなかった。だから制服を変えないでそのまま今の学校は変えているけれども全然違和感がなかった。

ところが、羽咋小は昔からセーラー服みたいな赤いスジの入った今の制服で行くと、できれば 100%まで補助できるかどうか分かりませんが、体操服はいいが、制服に関して、ある程度配慮していただければ。

予算措置が必要な話なので、簡単に分かりましたとは言えないと思うが、少しお考えになられたらと思う。

岸 市長： R8 を予定しているので、新たに入ってくる新入生は新しい制服を作ればいいが、2 年生、3 年生、4 年生、5 年生。ここをどうするかという話もある。6 年生は卒業するので、保護者の皆さんの意見を聞きながら、必要があれば予算措置をするということになる。

八島教育長： 保護者の皆さんの制服のことについては説明会に出てきており、何かしらの補助をしていただきたいと、そういう強い思いは持っている。

岸 市長： 5 年生は、1 年間だけなので、「譲ります」などで使えばいいのかなと思うが、個々にいろんなケースがあると思うので、R7 年中にいろいろと皆さんのご意見を聞きながら対応していきたい。

### 【協議事項（3）について】

蓮本課長： 放課後児童クラブについては、共働き世帯の小学生が放課後や学校の休業時に安心して過ごせる場所として実施している。

現在、瑞穂及び栗ノ保の放課後児童クラブについては、瑞穂は旧富永保育所、栗ノ保は旧栗ノ保保育所の施設を利用して、今のところ実施をしている。

これらの 2 つの放課後児童クラブについて、それぞれの小学校、瑞穂は瑞穂小学校、栗ノ保は栗ノ保小学校の空き教室を利用させていただき、その場所で放課後児童クラブを運用していくということで、子どもたちの安全の確保ということを踏まえて運営をしていきたいと考えている。

その内容について、令和 7 年度中の運用開始を目指しているところであり、移設にあたり、皆さんのお手

元に配布をさせていただいている、学校と放課後児童クラブとの整備に係る協定書というものを交わさせていただき、この協定書に基づいて、例えば、~~管理区分~~であるとか何かあったときの責任区分というものも明確にした上で運用の方を進めていきたいと考えている。

これは昨今、放課後児童クラブの待機児童が増加しているということもあり、国の方からも、学校施設の共用という指針がこども家庭庁や文科省からも出ているところである。

協定を結んでおいた方がいいという推奨もあることから、このような形で協定を結ばせていただければと考えている次第である。

2枚目の資料の方に現在検討している、瑞穂小学校と栗ノ保小学校の施設の利用の形態について図面をお示ししているが、まず栗ノ保小学校について、これは栗ノ保小学校の2階の旧のコンピューター室が現時点で空き教室となっているので、そちらの方を利用させていただきたいと考えている。

瑞穂小学校についても、コンピュータ室を活用させていただきたいと考えている。

まず栗ノ保小学校は、学校の形状から、玄関については、今現在生徒たちが使っている玄関を共用して使わせていただきたいというふうに現時点では考えている。

瑞穂小学校については、通常の児童玄関のほか、グラウンド側に、もう一つ別のグラウンド側の玄関がある。

そちらの方から基本的には出入りをしていくという形で現在のところ想定しているが、これは瑞穂の放課後児童クラブに行くときは、校内を歩いて入ってもいいが、帰るときにはグラウンド側の方から出入りをしていくという形で考えている。

それぞれの放課後児童クラブを学校の施設を利用して行うので、それぞれの防犯カメラ等を設置した上で、運用については学校の運営に支障がない形で進めていきたいと考えている。

西 委員： 栗ノ保小学校のコンピュータ室は出入口が一箇所しかなかったと思う。

今の時代、何が起こるかわからない時に、安全性、万が一があった時の子どもたちが退避する安全のため

に、そういう場所を考えていただきたい。

蓮本課長： 栗ノ保の空き教室は2階ということもあるので、そういった安全面に関しては、考慮していかなければならないと思うので、参考にさせていただく。

次回の会議開催については、今年度内に協議事項が出てきた場合はその都度、次年度については適切な時期に開催することとした。

八島教育長が閉会のあいさつをし、会議を終了する。

午前10時40分閉会